藤沢

平成28年６月30日　　第304号

〔発行〕（公社）神奈川労務安全衛生協会藤沢支部
支部長　ＪＸ金属株式会社　倉見工場
編集　藤沢支部広報委員会
http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/fujisawa/index.htm

平成28年度
「全国安全週間」を迎えて

藤沢労働基準監督署
署長　**鹿　島　俊　樹**

日頃から労働基準行政の推進にご協力いただき、ありがとうございます。

本年も、６月１日から６月30日までを準備期間、７月１日から７月７日までを本週間として、全国労働安全週間が実施されます。

本年のスローガンは

「見えますか？あなたのまわりの見えない危険
みんなで見つける安全管理」

です。

全国安全週間は、昭和３年に実施されて以来、一度も中断することなく続けられ、今年で89回目を迎えます。昭和初期の産業現場は、資料で見る限り今とは全く様相が違ったものでしたが、そこまで遡らずとも、私が直接見てきたこの30年余りの間にも、職場の安全をめぐる状況は大きく変化してきたように思います。

この間の変化のうち、誰もが指摘することは、産業構造の変化です。藤沢労働基準監督署管内の状況を見ても、製造業の大規模事業場が撤退した跡地に大型スーパーやショッピングモールなどが建設されていることに象徴されるように、販売業や社会福祉施設が大幅に増加し、今では、就業者の約７割が、いわゆる第三次産業の事業場で働いています。これに伴い、労働災害の発生状況も変化し、昭和63年には、休業４日以上の労働災害のうち、製造業、建設業、運輸業といった工業的業種で発生した災害が75パーセントを占めていたのに対し、平成27年度には工業的業種で発生した災害は全体の45パーセントとなっており、半数以上の労働災害が第三次産業の事業場で発生しています。このため、スーパーマーケット、社会福祉施設、飲食店等での災害防止が大きな課題となっています。

また、災害発生件数は減少しているとはいえ、依然として重篤な災害が発生している製造業などの現場も変化しています。これは、私が工場などの現場にお伺いして実感として感じることですが、最近の生産現場では、生産設備や原料が多様化してきており、従来から危険を指摘され、労働安全衛生法などの法規で厳しく規制されている機械や物質の管理だけではなく、リスクアセスメントなどで隠れた危険を正しく評価することが重要になっていると思います。まさに、今年度の全国安全週間のスローガンにあるように「見えない危険」を「みんなで見つける」ことが必要ではないでしょうか。

平成25年度から平成29年度までを計画期間とする「第12次労働災害防止推進計画」では、平成29年までに、藤沢労働基準監督署管内の労働災害による死傷者数を508名以下とすることを目標にしています。

皆さまの事業場におかれましても、この全国安全週間を機に、安全な職場づくりへの取組みを一層推進していただくよう、お願いいたします。

〔平成28年度　（公社）神奈川労務安全衛生協会藤沢支部スローガン〕

思いやりの精神で、働く人の健康と家族に
安心をもたらす職場をつくろう！

第89回全国安全週間湘南地区推進大会

6月9日（木）鎌倉芸術館

『第89回全国安全週間湘南地区推進大会』が６月９日（木）鎌倉芸術館において、243名（176事業所）の参加者のもとで開催されました。

はじめに神奈川県社会保険労務士会藤沢支部廣江支部長による開会挨拶があり、引き続き藤沢労働基準監督署鹿島署長より、災害発生件数は昭和56年度の1,145件をピークに、平成27年度では528件と半減していますが、一方で、新しい問題も発生しています。第三次産業の小売業・社会福祉施設・飲食店などの労働災害が増加していると言う、新しい問題も発生しているとの内容のお話がありました。

来賓の代表として鎌倉市松尾市長よりご祝辞を頂いた後に、藤沢労働基準監督署永吉安全衛生課長より、『第89回全国安全週間実施要綱について』、継続的に実施する事項として、14の項目についてのお話を頂きました。また、国内・神奈川県内・藤沢監督署管内での労働災害発生件数について、説明がありました。

特別講演としては、科野労働安全コンサルタント事務所科野所長より「職場における熱中症予防対策のポイント」というテーマでご講演を頂き、①『職場における熱中症による死傷災害の発生状況』②『熱中症の発生しやすい要因』③『要因別による熱中症の未然防止について』の３つのテーマについて説明があり、『熱中症の恐怖 ―予防対策のポイント―』の安全教育ＤＶＤを鑑賞しました。最後にまとめとして、『キチンとした知識を持って対応すれば防げる災害である』とのお言葉を頂き、大変参考になるお話を頂きました。

大会の締めくくりとして神奈川労務安全衛生協会藤沢支部加藤支部長より閉会挨拶を頂き、『ご安全に！』の挨拶で終了しました。

〈㈱湘南ユニテック　阿諏訪〉

優良工場見学研修会

日清オイリオグループ㈱横浜磯子事業場・㈱朝日プリンテック川崎工場・いすゞ自動車㈱藤沢工場を見学

６月７日（火）に平成28年度の「優良工場見学研修会」を開催しました。今回は34社50名の参加があり、３企業へ見学に伺いました。

最初に見学させていただいた日清オイリオグループ㈱横浜磯子事業場は233,100㎡の敷地に、約７万ﾄﾝの船がつける港、191本のサイロ（大豆なら大型トラック１万台分貯蔵可）、厳選された原料から油を搾る搾油工場、原油から余計なものを取り除く精製工場、容器に油を詰めるパッキング工場などがありました。場内に掲示された火気使用禁止の看板、清潔なパッキングエリアや作業されている方々の服装など、安全衛生に配慮されていることが分かりました。

続いて、全国で680万部印刷されている朝日新聞朝刊のうちの約53万部を印刷している㈱朝日プリンテック川崎工場へ伺いました。印刷業界では珍しく、印刷に関する研究や特許のみを専門にされている部門をお持ちで、2010年に新聞印刷の綺麗さで世界２位になられたそうです。綺麗さだけでなく、輪転機での印刷の高速化や、印刷前の紙（巻き取り紙）の運搬をロボットによって自動化するなど、随所で効率化が見られました。また、安全面では無災害日数を3,000日以上継続されていました。

最後にいすゞ自動車㈱藤沢工場へ伺いました。藤沢工場は110万㎡の敷地内に第１から第４まで４つの機能別の工場があり、大型・中型は1,050種類、小型については1,300種類のトラックを組み立てられているそうです。製造ライン上を管理された速度と間隔で流れながらトラックが徐々に成形されていました。作業効率を考えた製造工具の適切配置や、障害物を検知すると自動で停止する部品運搬台車等、無駄を省くための配慮が随所に見られました。また、世界各国のいすゞから研修生を藤沢工場に集め、安全に対する日本のきめ細やかなシステムを勉強してもらい、それを自国で展開してもらう等、安全に対しても尽力されていました。

３つの優良工場を見学でき、とても有意義に時間を過ごせました。

最後に、バスの提供と情報交換会を開いていただきましたいすゞ自動車藤沢工場様に感謝を申し上げます。

〈メルシャン㈱　渡辺〉

藤沢労働基準監督署からのお知らせ

労働保険の年度更新について

～労働保険（労災保険・雇用保険）の申告手続はお済みですか？～

平成28年度の年度更新は、**７月11日（月）まで**に手続をお願いします。

化学物質のリスクアセスメント義務化

労働安全衛生法が改正され、平成28年６月１日から施行されました。

業種、事業場規模にかかわらず、一定の危険性や有害性のある化学物質（安全データシート（ＳＤＳ）の交付義務のある640物質）の製造・取扱いを行うすべての事業場に化学物質やその製剤の持つ危険性や有害性を特定し、それによる労働者への危険又は健康障害を生じるおそれの程度を見積り、リスクの低減対策を検討すること（リスクアセスメント）が義務づけられました。

リスクアセスメントの実施時期について、次のとおり、法律上の実施義務と指針による努力義務が定められています。

〈法律上の実施義務〉

① 対象物を原材料などとして新規に採用・変更したりするとき

② 対象物を製造し、又は取扱う業務の作業方法や作業手順を新規に採用・変更するとき

③ ①②のほか、対象物に新たな危険有害性の情報が提供される等、危険性又は有害性などについて変化が生じたとき・生じるおそれがあるとき

〈指針による努力義務〉

① 労働災害発生時であって、過去のリスクアセスメントに問題があるとき

② 過去のリスクアセスメント実施以降、機械設備などの経年劣化、労働者の知識経験等リスクの状況に変化があったとき

③ 過去にリスクアセスメントを実施したことがないとき（法施行日前からの取扱い物質を施行日前と同様の作業方法で取り扱う場合で、過去にリスクアセスメントを実施したことがない場合）

化学物質などについてリスクアセスメントの対象となる業務を洗い出した上で、ＳＤＳに記載されているＧＨＳ分類などに即した危険性又は有害性の特定をします。リスクアセスメントには、対象物を製造し、又は取り扱う業務ごとにマトリクス法、数値化法、コントロール・バンディング等の様々な方法がありますので、事業場の実態にあったものを採用して実施します。

リスクアセスメントの結果に基づきリスクの低減措置の内容を検討し、その結果を速やかに実施するよう努めてください。また、リスクアセスメントの実施結果を労働者に周知してください。

安・健・快　雑感

自分流のストレス発散法

日本精工株式会社 藤沢工場
小　笹　　正

何はともあれ、健康が第一。この思いは自分だけでは無く、家族も皆、同じであろう。

そこで、健康とは何か？　改めて辞書で紐解くと「健康とは、ただ疾病や傷害がないだけでなく、肉体的、精神的ならびに社会的に完全に快適な状態であること」とWHOでは定義付けされている。要は心身ともに健全であることが、健康と言える。では、今の自分はどうであろうか？　自問自答してみる、何とか大丈夫だ。

そこで、この源となっているのは何だろう？私の場合は何と言っても、ストレスを発散できる幾つかの趣味が挙げられる。

その中の一つに「マイボートでの釣り」がある。マイボートとは言っても約３メートル前後の小型のもので、これを車の上に積んで好きな場所から出している。しかし、これでも船外機を積んでいるため免許を必要とし、約25年前に遊び心で取得した「小形船舶操縦士免許」が今になって役に立っている。このボートで、他の船舶もそして誰もいない大海原へ出航していくと、世の中の喧騒など何もかも忘れて自分だけの世界に魅了される。そしてのんびりと釣り糸を垂れる、この瞬間がたまらず釣果は二の次で満足している。

あとは「DIY」である。調度品などの修理修繕・改造から、物置の製作までをこなしている。数年前に関東地区を直撃した台風で物置が隣の畑まで飛ばされて全壊したが、この時も近くのホームセンターで必要な資材を買い揃えて約３ヶ月掛け完成させた。前述のボートも駐車場に手を加え、釣行時は直ぐ車載できるようにしてある。

今後も、この二つの趣味は留まるどころか、さらにエスカレートしそうな勢いである。

〔新規入会員紹介〕

●アシストＶ㈱	藤沢市葛原832	電子機器製造
●ｷｬﾀﾋﾟﾗｰ・ｿﾘｭｰｼｮﾝ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ㈱	高座郡寒川町一之宮７－11－１	建設機器販売修理

〔当面の支部行事予定〕

○化学物質管理リスクアセスメント講習	７月５日（火）	場所：藤沢市建設会館４階大会議室
○職長教育　H28年度第２回	７月12日（火）、13日（水）	場所：藤沢市建設会館４階大会議室
○安全衛生推進者養成講習	７月28日（木）、29日（金）	場所：藤沢市建設会館４階大会議室
○KYT講習会第１回	９月２日（金）	場所：藤沢市建設会館４階大会議室
○全国労働衛生週間湘南地区推進大会	９月８日（木）	場所：茅ヶ崎市民文化会館
○職長教育　H28年度第３回	９月13日（火）、14日（水）	場所：藤沢市建設会館４階大会議室
○衛生推進者養成講習第２回	９月27日（火）	場所：藤沢市建設会館４階大会議室

〈編　集　後　記〉

今年も全国安全週間が７／１から７／７の期間で開催されます。

安全衛生を担当していると、毎日のように「安全」という言葉を何気なく使っています。

そこで「安全」の意味を調べてみたところ・・・「危険や災害などによってそこなわれるおそれがない安らかな状態」「身の危険がなく心が落ち着いていること」「危険がなく安心なこと、傷病などの生命にかかわる心配、物の盗難・破損などの心配のないこと」だそうで、何れも「安心」な状態を表す言葉のようです。

では、「安心」とは・・・「気にかかることがなく心が落ち着いていること」と書かれていました。

「安全」は、物やからだの状態（影響）、「安心」は心の状態を意味しているようです。

調べていて思ったことは、「安全」という文字が使われている言葉が実に多いことです。例えば、「安全衛生」はもちろんのこと、「交通安全」「安全運転」「安全地帯」「安全装置」「安全靴」「安全剃刀」「安全ピン」などなど・・・

いずれも「安全」という言葉の意味を有効に活用し、人々に「安心」を与えているのだと思います。

私も職場の安全衛生活動を通じて、従業員に「安心」を与えていきたいと思います。

もちろん「家内安全」で「安心」な家庭も忘れずに。　〈中外製薬㈱　橋本〉